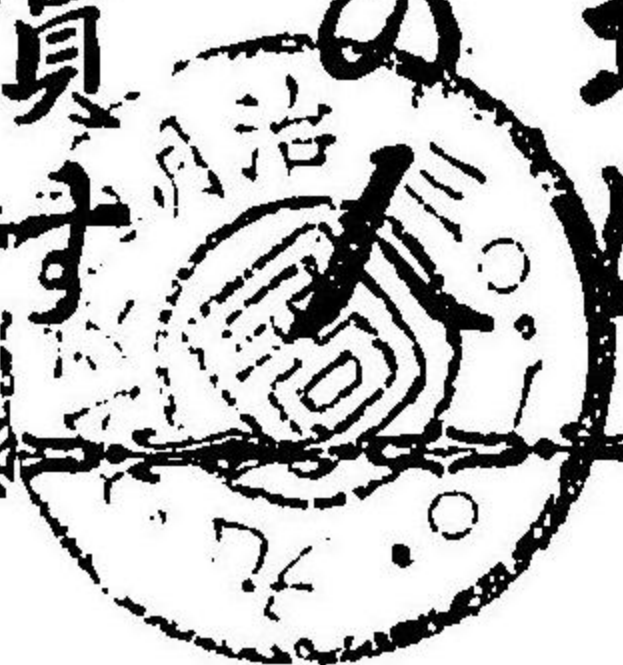


神戸果して名區勝地ある歟地は
 即ち新聞の地人の即ち他來の
 堂宇の見るへさなく園圃乃賞す
 へさなも然らば則ち神戸終よ名
 區勝地なき歟漂渺るる滄海の前
 下控へ巍峩るる峯巒を後よ負ふ
 天地取りと直ちよ堂宇を江

○序文



山を取りて直ちよ園圃とす此堂
宇也此園圃也戸々之れを有し人
々々を得ざるなし是れ神戸市
の大觀必しも纖巧細緻剝山殘水自
ら喜ふものや目を同じて語るへ
からま神戸よ遊ふもの此大觀あ
り以て其心氣を壯快よし天地

小とする乃慨あらん若し夫れ好
事の士荆棘蔓草を披き名士の遺
蹤を探り英雄の舊跡を訪ふ亦多
俯仰感慨を生むるべからんや塚
脇君頃日神戸名勝記を編纂し遊
人の爲よ東道主人多らんと志序
が余よ清ふ因て聊か所見を陳志

其責を塞くと云雨

明治三十一年初秋

鳴瀧業恭識

今日關西第一の貿易場たる神戸市も昔は荒州冷
烟の寒村に過ぎざりしが慶應三年十二月開港以
來人家日を追ふて増殖し市内至る所車馬行人絡
繹織るが如く港灣には帆檣森如艦船の駛航絶に
ず市の北方は六甲、摩耶、諏訪、鷹取の諸山並列
し、氣候順に寒暑嚴ならず、戸數四萬六千戸餘人
口十八萬二千六百餘、市内を四區に分ち舊生田
川以東を葺合區とし以西宇治川迄を神戸區とし
宇治川、湊川の間を湊東區とし湊川以西を湊西

2
 區とす、本年九月一日より十一月廿日迄第二回
 水産博覧會あり又全國教育家の大會あり、今遊
 人の爲めに次序を追て道案内を爲すべし

神戸名所案内目録

1

神戸名所案内目録

○神戸市全景之圖……………一葉

○水産博覧會及湊川神社之圖……………二葉

○神戸外國人居留地及歐訪之圖……………三葉

○布引の繩及福原花街之圖……………四葉

○湊川堤坊及兵庫運河之圖……………五葉

○和樂園及水族館之圖……………六葉

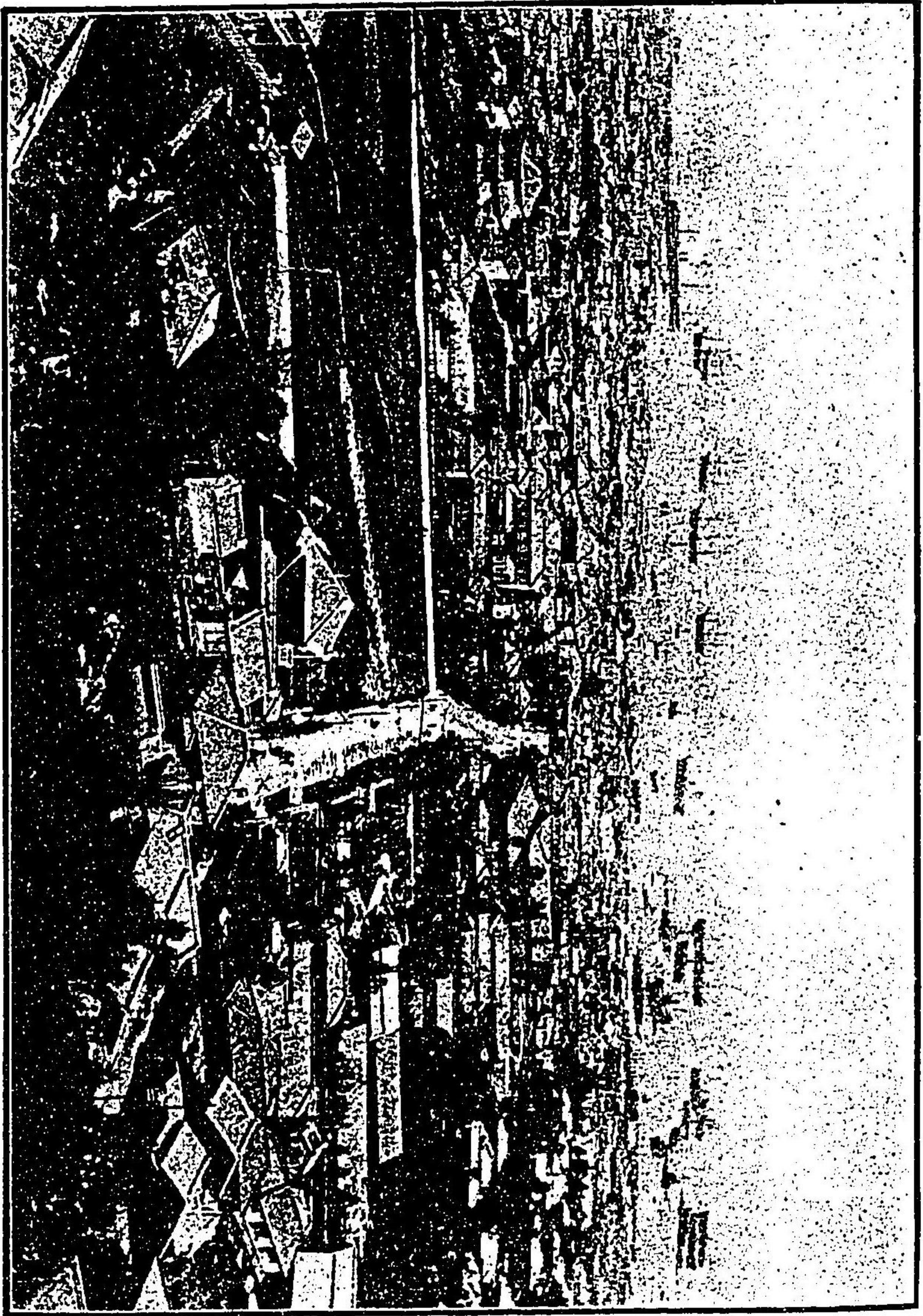
○中町之部……………一頁

○神戸之部……………四頁

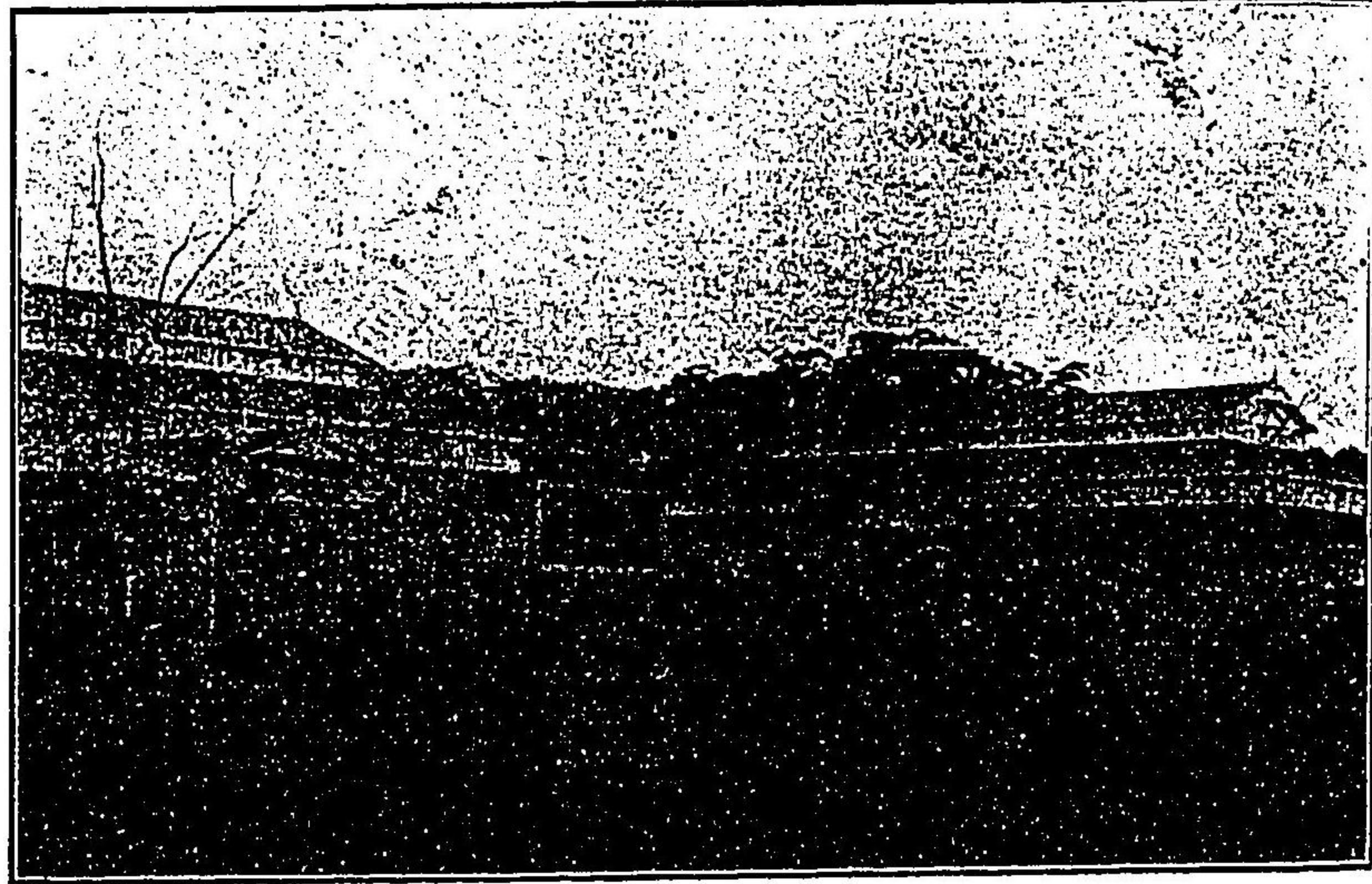
○兵庫之部……………十二頁

- 須戸之部.....二十頁
- 舞子之部.....廿三頁
- 神戶附近人力車里程及賃錢表.....廿四頁
- 神戶及兵庫宿屋宿泊料定額表.....廿六頁
- 官設鐵道神戶新橋間發着時刻及賃金表.....廿七頁
- 山陽鐵道神戶廣嶋間發着時刻及賃金表.....廿九頁

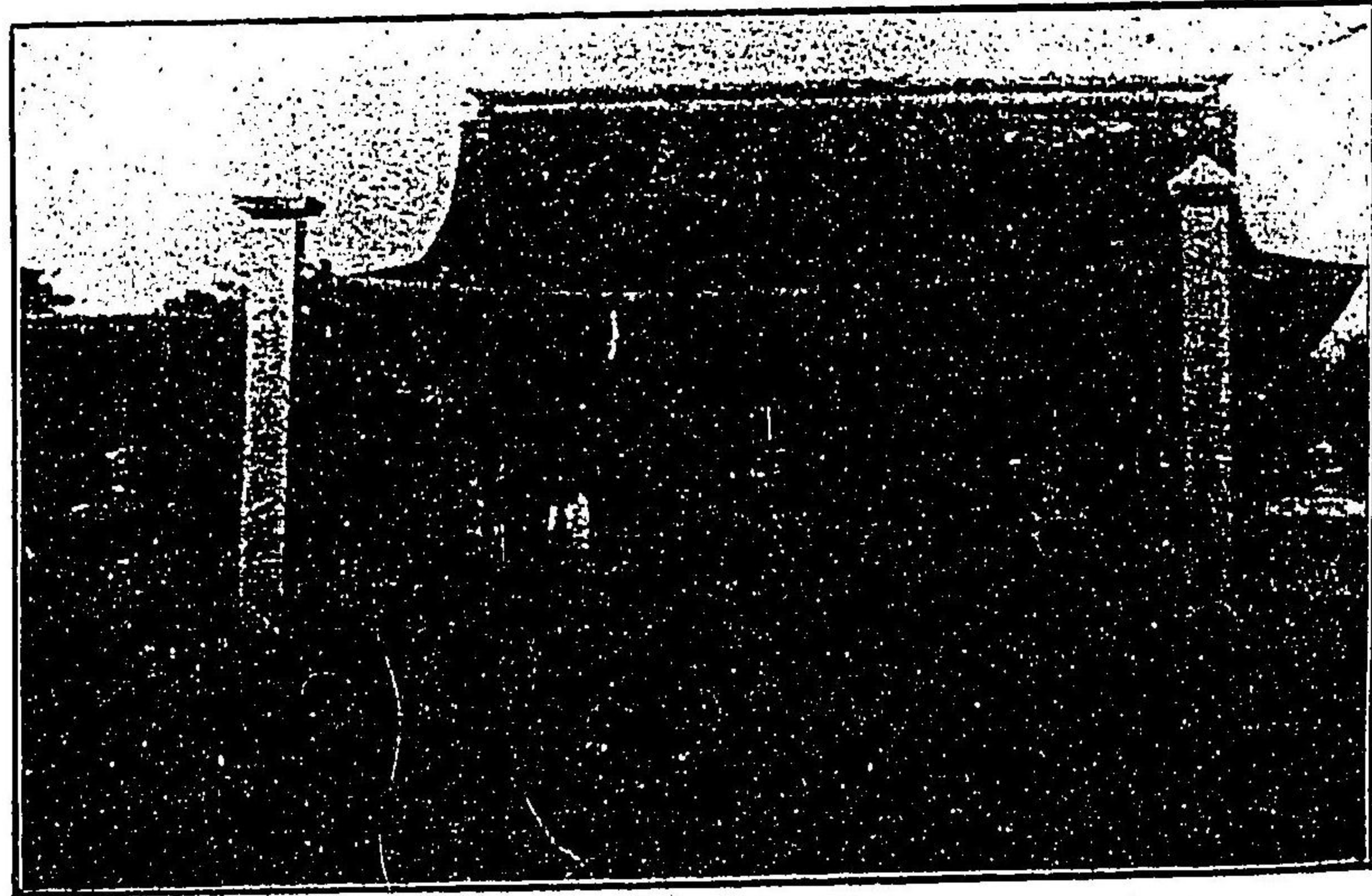
目錄終



神戶市全景



水産博覽會



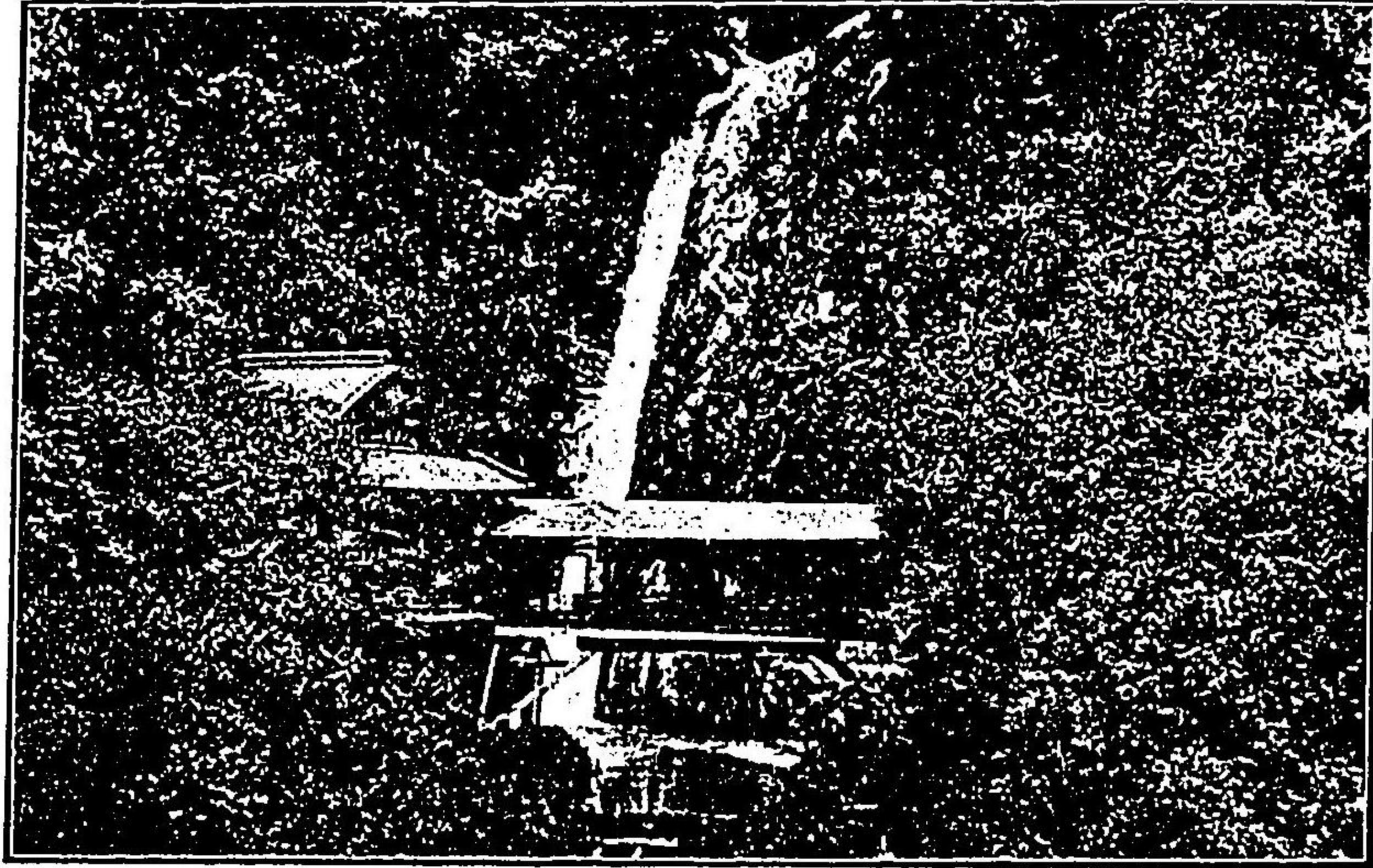
湊川神社



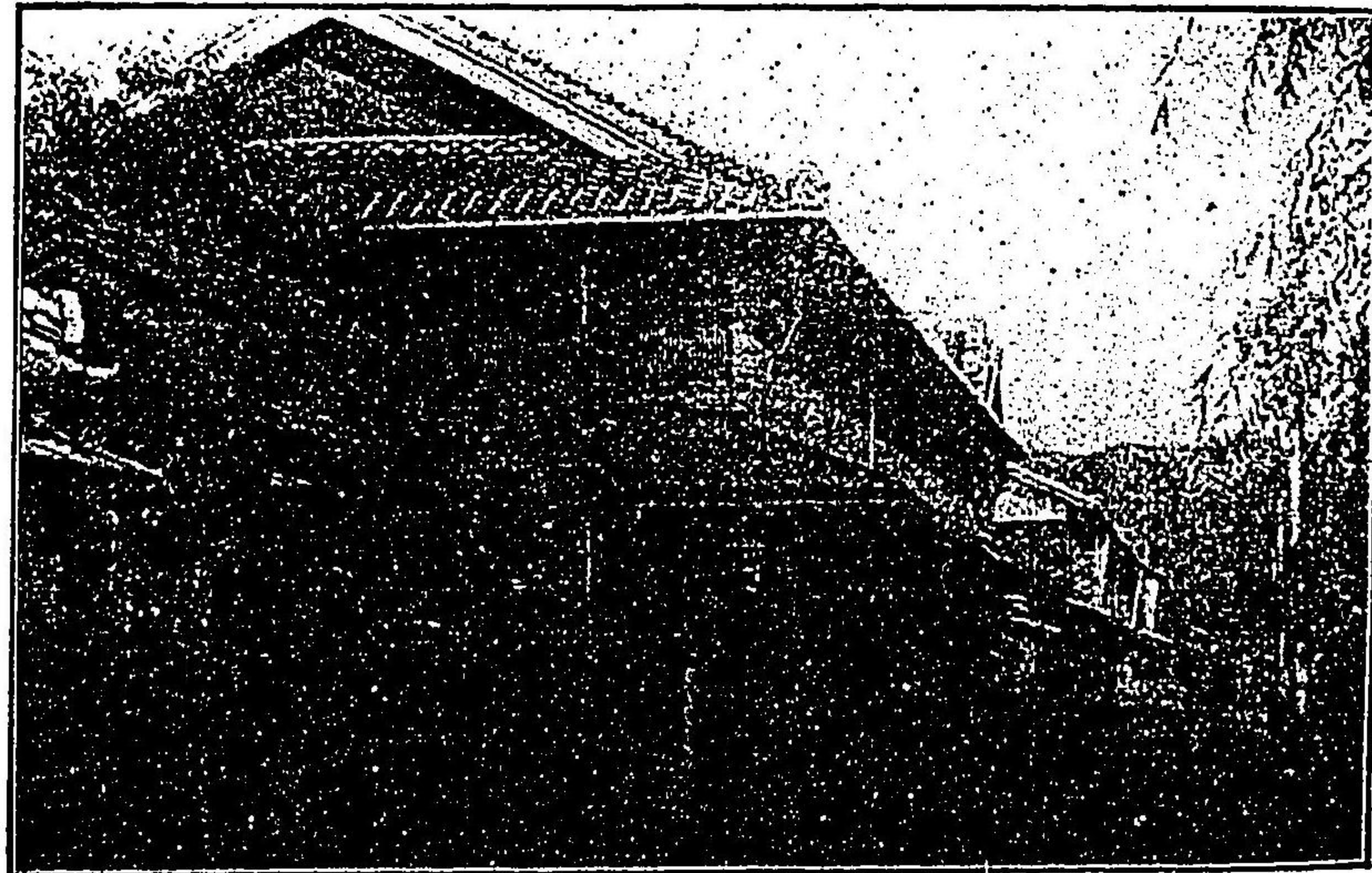
地留居人國外戸神



山訪諏



瀧の引布



街花原福



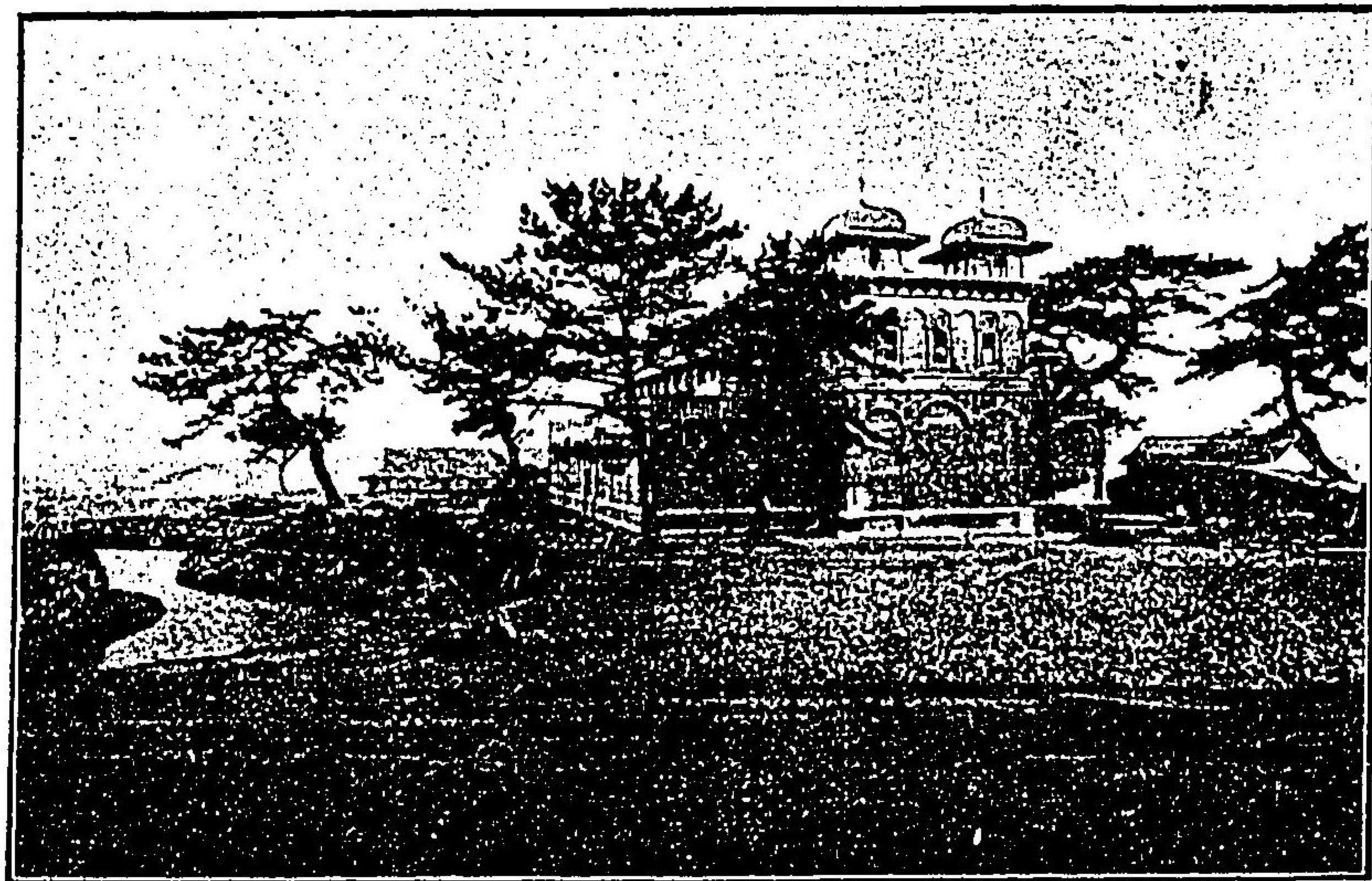
防堤川湊



河運庫兵



和 樂 園



水 族 館

神 戸 名 所 案 内

高 城 山 人 編 纂

○ 中 町

○ 湊川神社 神戸停車場の北多聞通二丁目にあり別格官幣社にし
 て南朝の忠臣贈正二位右近衛中將橋朝臣楠正成公を祀る元祿
 四年水戸黄門光圀卿碑石を建立し嗚呼忠臣楠子之墓の八字を題し
 裏面に明の遺臣朱舜水の撰文を刻す、境内廣濶社殿、壯宏、緑樹
 花卉風趣佳なり二十七八年征清の役、分捕に係る砲彈の奉納あり
 神戸開港以前神社近傍は茫漠たる草野に過ぎざりしが市の繁盛に
 伴ひ中樞の巷衢となり社内には露市、店舗、寄席、矢場等ありて
 喧鬧せり、社の西門を北に上ること四丁許に楠寺あり

○ 楠寺 是醫王山廣嚴寺と稱す、楠公の菩提所にして公の遺物多
 し建武三年五月二十五日楠氏一族此寺の客殿に自殺したりといふ

境内に一老梅あり、元楠公墳上にありしが水戸黄門が碑を建つる時茲に移し栽ゑられたりと寺の背後を

○安養寺山 といふ眺望絶佳、麓に安養寺あるを以て名づく山の

西は今回開設せる第二回水産博覧會場なり

○第二回水産博覧會場 は神戸停車場を距る六丁餘楠町一丁目今春共進會場たりし所なり九月一日より十一月三十日まで九十日間開會し毎日午前八時より午後五時迄衆庶の縦覽自由にして入場券一人四錢北海道より臺灣に至るまで全國海陸水産物を蒐集陳列し實業上裨益すること大なり館は四棟にして一館は審査室に充つ他に小館四五あり陳列品は六部に分る即ち第一漁業第二製造第三養殖第四教育學藝及經濟第五機械器具第六水族是なり其内水族は和田岬なる水族館に收めたり本場館内に休憩所あり飲食店あり、熊谷書店の出張所は第二號三號館の間にあり館前に各府縣の賣店あり

會場の西、田圃中に

○池大納言山莊跡 あり大納言は清盛の弟福原遷都の初め此山莊

を行在所とし後新都に移らせ給ふと云ふ其近傍に

○差方塚 あり福原に遷都の際の標石なり

○湊山温泉 博覧會場より東北七八丁を上れば奥平野村なる湊山

(一に天王と云ふ)の温泉に到るべし豊太閤浴湯の由緒傳はれり土地幽雅、料亭、旅舎あり

○雪見亭跡 平相國遷都の砌、觀雪亭を築きたる跡にして全所にあり

○千鳥瀧 湊川上流の瀑、高さ二十丈許、瀑の古歌に

石はしる千鳥の瀑に來て見れば

旅行人のあどは見ゆけり

○祇園社 素盞雄命を祭る又午頭天王といふ六月の縁日頗る賑し社の東にある

○祥福寺 は禪宗の古刹なり垂櫻樹あり寺を下りて東に出づれば諏訪山に到るべし

○神 戸

○諏訪山 遠く紀、泉、淡の峰巒を雲煙の間に望み近く神戸市を双眸の下に集むるものは是れ諏訪山の勝景、酒樓、旅舎、軒を列ぬ山腹に諏訪稻荷の社あり士女賽するもの多し、温泉あり明治十五年兵庫の常盤花壇主人の開く所、地勝にして泉も亦鱉なり、山の背後に

○再度山 あり山麓を上ること二十町にして達す古刹あり大龍寺と稱す、神護景雲二年和氣清麿、行基作の觀音を得て茲に創す、

此山初めは尼摩山と稱せしが弘法大師再度登山せしによりて今の名を稱す前面に多々部の城趾あり觀應の頃赤松則實の據る所なり
○中華會館 再度山を下りて中山手通七丁目にあり支那人の俱樂部にして俗に南京寺といふ、輪奐の美を極む、下りて西手に『清國理事府』『縣立神戸病院』あり其東花隈町に

○花隈城 あり永祿十年荒木村重織田氏の命を奉じて築く所、後紀州の雜賀根來の渡邊等之れに據り池田信輝に攻せ落さる、城趾は今所謂高城是なり是より東、下山手四丁目に兵庫縣廳あり其上方に警察本部、縣會議事堂あり警察本部の西に師範學校あり

○山路城趾 山本通り城ヶ口中宮にあり觀應の頃赤松滿祐の嫡則實の居城なり、城ヶ口には梶原の遺跡の標石あり、北野には炭酸の鑛泉あり是より東に下りて龍道に傍ふて上る時は布引に至るべし

○川崎美術館

は川崎正藏氏が珍藏の書畫美術品を陳列す

○布引瀑

は神戸第一の名所にして生田神社の北、生田川の上流

にあり二瀑あり相距ること三丁許、上なるを雄瀑といひ高さ二十

四丈下なるを雌瀑といふ高さ十八丈、懸崖の間を斜に下り恰も白

布を引くが如し是れ其名の起る處、土地幽邃にして水清く老樹蒼

鬱遠く蒼海を望み夏日涼を納るゝに適す

水の色のたゞ白雪と見ゆるかな

誰さらしけんぬの引の瀑

六條右大臣

布引の瀑の白糸夏くれは

たぬすそ人の山路たつぬる 定 家

平相國瀑見の宴を催し難波六郎經房が迅雷に震死せるは稗史に傳

へて人の知る所なり、山は砂山と稱し天正の頃松永彈正之れに據
る、瀧の麓に酒樓旅舎あり亦炭酸泉の浴場あり

○摩耶山

は布引瀑を距ること二十餘町にして達す、山峻く地靈

なり此に上れば一望近畿を目睫に集め登仙の想あり、山上の巨刹

を切利天上寺といふ大化元年天竺の法道上人、道宣律師より闍浮

檀金製の十一面觀世音を授かり此寺を創す昔は子院僧坊三百餘ありて壯嚴なる大伽藍なりしが兵燹に焼失せり、山上の城趾は赤松

圓心の據りし所、山を直下すれば市内脇の濱に出づ、海濱に『法

然の松』あり此近傍は古の『敏馬の浦』にして『敏馬神社』は其

東、西灘村岩屋にあり是より東に求女塚、岡本梅、業平の別莊其

他舊趾あり寶塚有馬も亦遠からず是等の案内は他日詳説すること

あるべし布曳瀑より流出して南海に注ぐものを

○生田川 　と云ふ昔は瀧道通りを流下せしが明治十六年頃付替たるものなり其沿岸に神戸中學校あり是より東四五丁にして生田に至るべし

○生田神社 　有名なる生田の森にあり祭神の天照皇太神の御妹雅日女尊にして官幣中社に列せらる左右に攝社四座あり、八社の裔神市内に散在す、社後の茂林は壽永の昔、平氏が東門の堅めとせし所境内古跡多し箴の梅の源太景季が箴に挿みし梅を差したるもの、梶原井は景時が水を掬びて武運を祈りしもの高麗竹は神功皇后の釣竿を植させ給ひしもの、其他社内に寶什少ならず、社務所に請ふて拜觀を得べし其裔神八社の一にして湍津姫神を祭れる

○三宮神社 　は生田を距る西南五丁許外國人居留地の傍にあり境内廣からざれども劇場寄席あり夜間の露市殊に賑し三宮の東に神

戸警察署製紙會社あり其西一丁許に

○河原兄弟墓 　あり兄を太郎直高、弟を次郎忠家といひ壽永の役源氏の先陣として武勇を顯はし茲に戦死す、今は人の邸宅となり碑は他に移さる

○外國人居留地 　東は舊生田川より西は戀川に至り北、三宮を限り南海に沿ひ面積凡七万餘坪巍然たる大園高樓、薨を接し自ら一城廓を爲すものを神戸居留地とす商館総て百二十餘、市街端整家屋壯宏、遊園あり劇場あり海に瀕する所に税關及棧橋あり居留地の西方は

○海岸通、榮町通 　にして神戸屈指の市街銀行、會社、豪商軒を並ぶ、郵便電信局は榮町六丁目にあり榮町の北を

○元町通といふ 　商賣の最も盛なる所なり檢番あり中檢西檢と稱

す藝妓三百餘之れに隸す元町を西して宇治川を渡り海に濱する東川崎町に

○御用邸 あり明治十二年 天皇陛下御巡行の時行在所に充てら

れ其後宮内省へ御買上げとなりしより 屢行幸啓あらせらる海に枕み眺望絶佳なり、是より北に至れば電話交換局、神戸商業會議

所、市役所、兵庫警察署あり警察の側にあるもの則ち

○相生橋 にして橋を渡りて左鐵道に傍へば、神戸停車場に至る

べし右すれば多開通に至るべし多開通二丁目楠公社前に劇場大黒座あり其西二丁許に相生座あり、楠公西門を出づる所を橋通とい

ふ寄席、矢場、料亭、飲食店等軒を駢べ最も繁華なり俗よ

○西門筋 と稱す是より西に至れば福原に達す

○福原遊廓 湊川堤下に高樓巨屋、薨を駢へ一廓を設く、廓の組

織東京吉原に擬し大通りを仲の町といひ中央に溝渠を通じ樹木を

植る風致を添へたり溫柔郷を斯に劃し春を買ふの嫖客、花を探る

の遊治躰を絶たず唱歌湧き絃聲漲り終宵更の闌くるを知らず、娼

樓凡そ八十、遊女八百餘、大雛と稱すべきものは色葉、松浦、眞

田、長谷川、澤山、成田、愉快、勢陽、多聞、青柳、巴等の諸樓

とす、廓の東を稻荷新地と呼ぶ娼廓數十軒あり福原の北に

○招慶院 あり本尊釋迦如來、足利義詮が後醍醐天皇の御位牌を

奉祀せる由緒ある寺院なり福原を西に出れば

○湊川 に至るべし湊川は楠公忠死の古戰場として著名の地なり

今日は掛茶屋、氷店ありて頗る繁華なるも老松、大榎の鬱蒼たる

邊尙は過客の低回するものなきにあらず風光絶佳只平時一滴の水

なきは聊か物足らぬ心地せらる、川尻には夏時海水浴の設けあり

殊に賑はへり川に橋六條を架す洗心橋金刀比羅橋新橋湊橋中橋土橋といふ川の西を兵庫とす

○兵 庫

湊川中の橋を渡らば兵庫西出町に出づ町の南側『日向神社』内に寄席あり其前面稻荷の境内に『平経俊塚』あり経俊は無官太夫敦盛の兄にして一の谷の役戦死せるもの西出町の北を佐比江町とす、昔し

『佐比江』とて遊女町なりし所なり、西方宮内町に

○七宮神社 あり生田神社齋神の一にして大巳貴命を奉祀す

又湊橋を渡りて西、神明町に『明治座』あり元と『村の芝居』と稱す

江川町に『藤の寺』あり法然上人卓錫の地にして寺内に紫藤あるを以て有名なり永澤町に

○嚴島神社 あり平相國清盛公の勸請にして境内に龍燈の松の

古木あり

○柳原 は山陽鐵道會社のある所にして『兵庫停車場』亦茲にあり

此地昔は娼樓、酒家相連なり有名なる所なりしが今は大に舊態を改めたり然れども猶淀檢、中檢の二檢番十數の酒樓ありて粹人通客の間にもてはやさる南に出て中の島に至る所を

○築島 といふ應保二年平相國阿波民部重能を奉行とし工事に着手せしが潮流急にして屢々壞れしかば博士阿部恭氏のトにより生田の小野に關を構へ旅人を搦め取り之を人柱とし築成せんとす清盛の童松王年十七見るに忍びず自ら代て海に投じ島乃ち成ると以て其難事業たりしを知るに足るべし此工事今に至るまで其慶を享くること多し、松王の爲めに建立せし『築島寺』は島上町にあり淨

土西山派にして經島山來迎寺と稱し阿彌陀如來及松王の像を安置

す昔は七堂伽藍ありしも建武中兵燹に焼失したり境内に松王の墓
松王手植松祇王祇女の墓等あり夫より北逆瀬川に至れば

○能福寺 あり傳教大師の創立にして明治二十四年寺内に大佛を

安置す、寄席露店ありて頗る賑へり其西隣

○眞光寺 は西日山と号し市内第一の巨刹なり、仁明天皇の朝、

惠尊法師入唐して宗主より大悲の尊像を授かり此寺を創す時宗一

遍上人中興の開祖となり此寺にて寂す、寺の西南方に

○清盛塚 あり十三層の塔にして高さ二丈六尺、平相國養和元年

閏二月四日六十四歳にして薨じ圓實法眼、遺骨を福原に携へ來り

て爰に埋む、塔は弘安九年二月北條貞時の建立なり太平山八棟寺

とて相國の建てし寺院ありしが天正の兵燹に焼失せりといふ塚前

相對する所に

○琵琶塚 あり瀧永の役、一の谷に戦死せし但馬守平經正の墳な

り、經正は清盛の弟修理大夫經盛の嫡男にして琵琶の妙手なり、

或は此塚を以て青山の琵琶を瘞めし所とするは否なり其西精米所

の構内にある

○萱御所舊趾 は是れ平相國が方三間萱葺の板屋を繕ひ後白河法

皇を幽閉し奉りし所といふ桑門の快男子高雄の文覺が平家追討の

院宣を請ひしは此御所なりと再び南に出で新川に至る

○新川 は築島の地内に屬し明治七年市民の堀鑿したるものにし

て出在家町の海濱より起り築島寺の近傍の入江に達る、船舶の出

入自在にして運送の利便ならず、川に沿ふて倉庫多し、此地娼

樓十數あり『新川遊廊』といふ遊女百餘名を置く煙客は舟子等にし

て福原の比にあらず是より南に尽くる處は和田岬なり

○和田岬 兵庫の南端に海に突出したる所にして延元々年足利尊氏（けんや）の九州より東上する時新田義貞（たけまさ）の固めし地にして尊氏の『陣屋跡』本間孫四郎が『遠矢の濱』等の舊蹟あり

○和田神社 岬の北にあり祭神は天御中主尊にして社殿壯嚴老樹蔭鬱す

○和樂園 岬頭にある園圃にして九月一日より開設の第二回水産博覽會付屬水族館に充つ、園内廣潤にして茶亭、酒樓あり中央の三層樓を眺望閣と稱す、閣に上れば渺茫たる蒼海、天に連なり紀、泉の翠峰を糺糊の間に望み、手に取る如き淡路島呼べば應ふる風情あり西は須磨舞子の浦續き北は兵庫神戸の眞帆片帆北の摩耶鷹取の連山を双眸に矚し四季眺望名に背かず園内の

○水族館 は第四回勸業博覽會の際水族室を設けたる地に新築し

たる西洋形木造にして建坪百七十三坪後方機械室と鹹水淡水の二個の貯水池あり石油發動機を以て養魚函に水を輸す本館の入口には洞窟を作り高所より飛瀑を直下す洞裏に油繪の海面を描出す右折すれば鹹水の放魚函二十個両側に排列し大小の海魚を放養す之れを右折すればパノラマの海底動物棲息圖あり實物の蟹魚等を配す、又右折すれば両側に九個の淡水放魚函あり河川池の景を描出す夫より孵化に際する幼魚其他の小水産物を飼養する所を過ぎて出口あり、岬邊に『和田の笠松』あり枝葉笠の如く廣がれり

秋風の吹さ來る峰の村雨に
 さして宿かる和田の笠松 爲 家

其他「安徳天皇内裏跡」「平相國燈籠堂」推古帝の「被殿塚」「延喜山」等あり又和田倉庫會社ミシユル／＼會社の露油油槽あり西

北林田村吉田新田に『鐘淵紡績會社分工場』、『上海紡績會社』あり其
他瓦斯會社、運河會社等皆近傍にあり漸次工業上樞要の地たらん
とす、運河會社の事業たる

○運河 是新川の一部より吉田新田を経て荻藻川附近海岸に達す
工事未だ十分の四五に過ぎざれども成功の上は和田岬頭の急流を
避けて船舶の便利を得る尠少ならざるべし

○福原内裏蹟 治承四年一時遷都せし福原の都趾は東尻池の寺山
にあり、福原内裏の介石を殘せり、尻池に流下する荻藻川下流一
帯の海濱を古『眞野の浦』といひたり
わさも子か袖をたのみて眞野の浦の
小菅の笠を捨てさよけり

○眞野の繼橋 是荻藻川下流に架せるものにして又淀の繼橋とす

ふ

ふみ見ても物思ふ身となりけり

眞野の繼橋とたゞのみして 相 撲

橋の北駒ヶ林に『源氏松』あり光源氏須磨に居る植うるもの

いにしへの小馬が林の松見れば

植し古葉もかはらざりけり 兼 頼

又『匂ひ海』あり菅公筑紫下向の時

肌寒み雪にまかへて咲く花の

袖にぞ移れ匂ふ梅か香

の歌を詠せし所にして

忠度塚 是薩摩守忠度の腕を瘞むる所なりとて又腕塚といふ

長田尻池の郊外には『越前盛俊』、『武藏守知章』、『監物太馬頼方』、『越

前三位通盛』本村章吾重章』等の塚及古戰場あり懐古の士墓艸を
披きて物色すべし

○長田神社 長田村にあり兵庫驛を距る西北數丁、祭神は事代主
尊にして官幣中社に列せらる、神功皇后征韓凱旋の時奉祀せるも
のにて寶什抄からず華表の題表は小野道風の筆なり、毎月一日參
詣するもの多し之れを長田詣といふ
背後に『鷹取山』あり東隣の一小丘を『増出山』といふ酒樓あり遠望
頗る佳なり前面の街道を西すれば須磨に至るべし

○須 磨

兵庫驛を距る二里、氣候清爽、風光佳絶、古より景勝の地として人
口に膾炙す壽永の昔大宮人海人の苦屋に寄在し翠簾を垂れたる遺風
今尙存す此地名勝、舊跡多し「禪昌寺」は延文中月菴宗光和尚の開基

にして舊記多し門は左甚五郎の作、開閉するに鶯の聲あり、土
地幽邃紅葉を以て名あり

本尊は釋迦か阿彌陀か紅葉哉

瓢 水

須磨寺 上野山福祥寺と稱す源平時代の寶什多し、門前の櫻樹
は所謂「若木櫻」にして義經が武藏坊辨慶に命じて建てしめしとい
ふ制札は今寺内に存す

須 磨 櫻

此華江南所無也、 一枝於折盜之輩者

任天永紅葉之例、 伐一枝者可剪一指

壽永三年二月 日

須磨寺の西南に『源光寺』あり光源氏の舊跡、芭蕉の句碑あり

見わたせはなかわれは見れば須磨の秋

西方街道の左右に「關屋趾」あり

淡路島通ふ千鳥の鳴く聲に

幾夜寐覺めぬ須磨の關守

兼 昌

○綱敷天神

は海濱小林中にあり菅公の遺跡菅浦小路に中納言行

平謫居の跡あり、行平光孝天皇に嵯峨に供奉して忌諱に觸れ此浦

に流されし時の居趾なり其近傍「行平月見の松」「松風村雨二女の

遺跡」等あり、有名なる

○一の谷

は須磨の西邊にあり、源平の古戰場として千歳の遺恨

猶赤白の躑躅花よ留む谷の上に「内裏跡」あり西に二の谷三の谷あ

り、上面は是れ九郎判官が一鞭直下平氏の不意を襲ひし「鉄拐嶽」

にして坂落し岩石落しあり「鶉越」其北にあり街道の側に

○敦盛塚

と稱して五輪の塔あり、高一丈餘是れ實は北條七代貞

時が平家戦死者の冥福を祈らん爲め建てたるものといふ塚前に敦

盛蕎麥あり塚の東松林中に保養院あり

○舞子

須磨を距る二里、播州西垂水、山田間の海濱にして青松白沙の間に

蟠廻し風致神韻凡ならず前面翠を帯ふるの淡島呼べば響へんとす園

内の酒樓以て鮮を割さ醇を酌むべし毎年四月より十月まで特に茲に

停車場を設け遊客の便を圖る、是より西、明石より播州諸名所は本

編に用なれば省く

地名	神戶停車場ヨリ		博覽會場ヨリ	
	里	賃錢	里	賃錢
博覽會場	六町五間	四錢		
中稅關迄	八町三十間	五錢	十四町三十五間	八錢
三宮停車場迄	十町二十間	六錢五厘	十六町四十五間	八錢
兵庫縣廳迄	十町二十三間	六錢五厘	十四町五十五間	八錢
居留地中央迄	十一町二十五間	六錢五厘	十七町三十間	八錢
三宮神社迄	十一町三十一間	六錢五厘	十七町三十間	八錢
生田神社	十五町三十二間	八錢	二十町七間	九錢
諏訪山	十五町二十五間	八錢	二十町四十間	九錢
東棧橋	十八町五十六間	九錢	二十五町一間	十錢五厘
小野六軒道	十八町二間	九錢	二十四町七間	十錢五厘
布引瀧	廿六町五十二間	十二錢五厘	三十二町五十七間	十三錢
臨ノ瀧	一里十町十四錢五厘	一里十六町十五錢五厘		
御影町	二里五町二十二錢	二里十一町廿三錢五厘		

楠公社	一町二十九間	二錢五厘	四町二十六間	四錢
湊川新橋	六町二十間	四錢	六町四十間	五錢
島上而船場	十一町四十二間	五錢	十四町二十八間	六錢五厘
築島寺	十二町十二間	五錢	十五町二間	八錢
能福寺	十町五十六間	六錢五厘	十四町四十一間	八錢
石井村監獄	十三町二十二間	六錢五厘	七町三十七間	五錢
天王溫泉	十四町三十五間	八錢	八町二十七間	五錢
和田岬和樂園	廿六町五十七間	十錢五厘	二十八町三十一間	十一錢五厘
長田神社	三十四町五十六間	十錢五厘	三十五町十六間	十錢五厘
東尻池村	廿五町二十七間	八錢	廿五町四十七間	八錢
西宮町	四里七町	四十四錢	四里十三町	四十四錢
有馬溫泉	六里	九十錢	五里三十町	九十錢
三田町	七里二十九町	壹圓廿錢	七里二十五町	壹圓廿錢
須磨停車場	二里二町	二十一錢	二里二町	二十一錢
舞子公園	四里	四十錢五厘	四里二十間	四十錢五厘
明石町	四里三十一町	五十二錢	四里三十二町	五十二錢

長岡益田謙三郎製圖

神戸市新圖

全一冊 定價十錢

郵税二錢

本圖表面は神戸市の最近改正實地なりたる區域及び須磨近傍の勝地等記載せたる明細
 圖にして裏面には神戸市沿革の大要神戸元標より管内外地への里程并に全市内改正
 町村名其他官衙學校會社銀行等の所在地より名所舊跡に至るまで洩れなく掲載し以て
 参考の便に供するものなり

兵庫縣廳御編纂

改正兵庫縣管内全圖

石版摺折本總クローヌ
 美製實價金壹圓錢
 郵税 六錢
 堅五尺横三尺四寸
 學校用堅固軸仕立
 實價金壹圓廿錢

右ハ從來完全の管内地圖なりを以て官民の不便を感ずるや既に久し本圖は兵庫縣廳に
 於て毎年勞費を吝まらず最も熱心に材料を實地に蒐輯せられ六年末の現狀に依りたるも
 の其詳密にして正確なるは更に多言を要せず況んや總て廿六年末の現狀に依りたるも
 のなれば最も最新なるに於ておや今や弊店特許の該圖の允准を得て茲に發行せり凡そ地
 圖の用たる政事教育を始め其他關係する所應る該圖の價値を墜さんて
 風を恐るるを以て版る複雑の形象も極めて詳明にして千百の事物も一目瞭然たり

兵庫縣輪廓地圖

本圖ハ小學生徒に管内の地理を實地練習なましめんが爲に先年發行せしに教育家諸君の高評を博し各小學校にて採用せらるゝ書入用練習地圖なり

全一冊 正價七錢
郵税貳錢

錦江梁田邦彦先生序 南豐農美重由君序
海關楠本小六先生序 榎花小野利敬君著

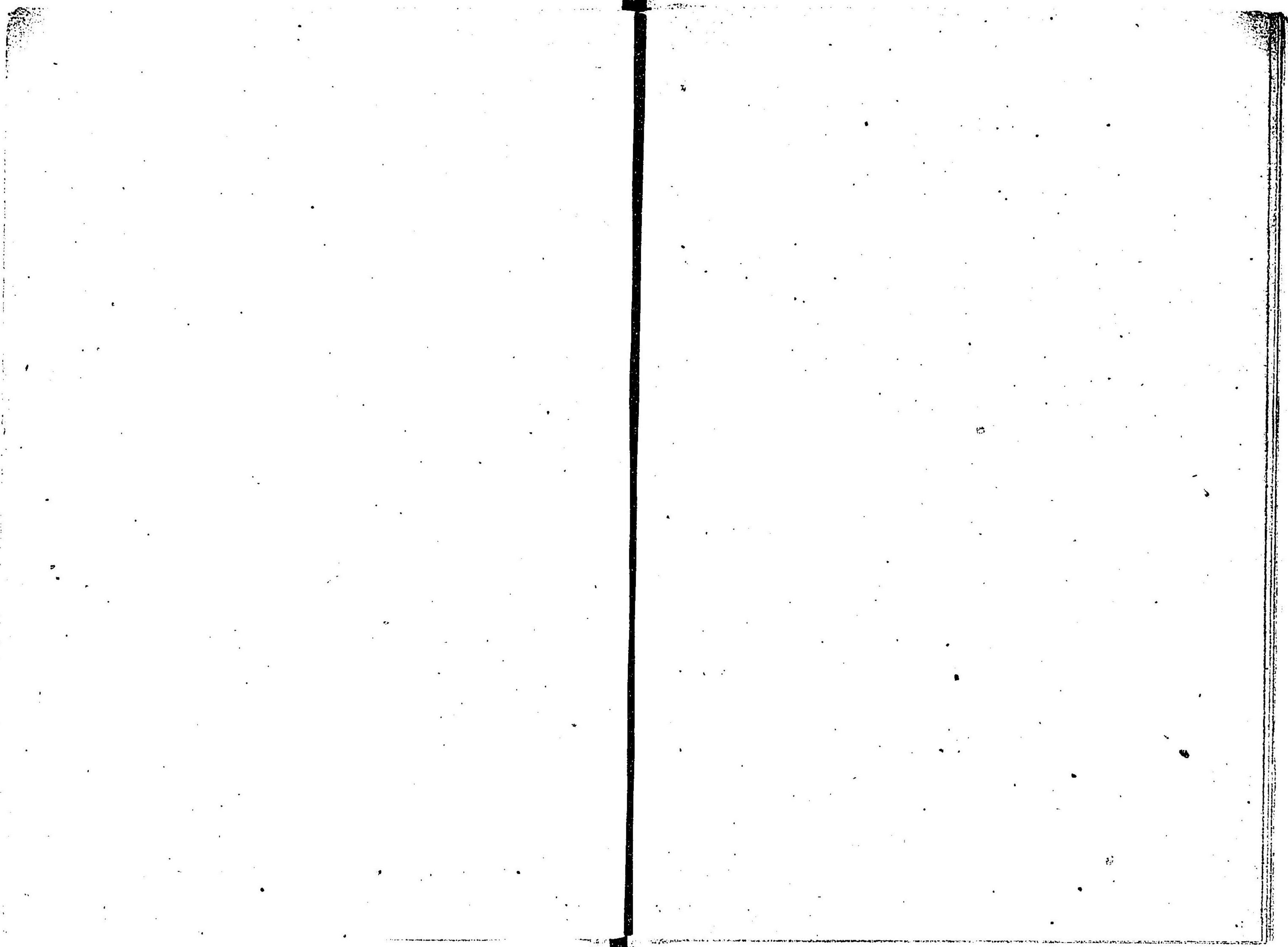
全一冊 實價廿五錢

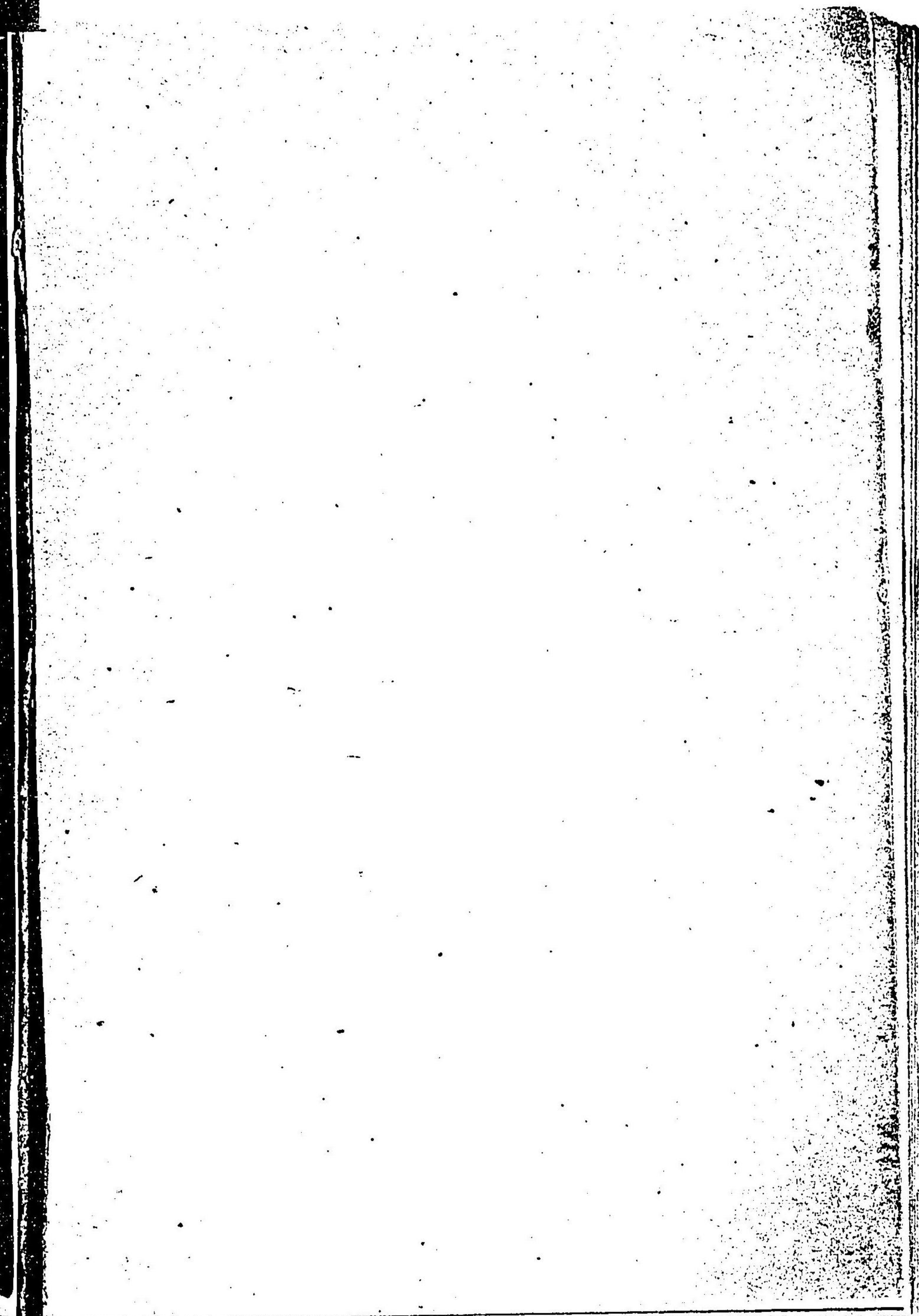
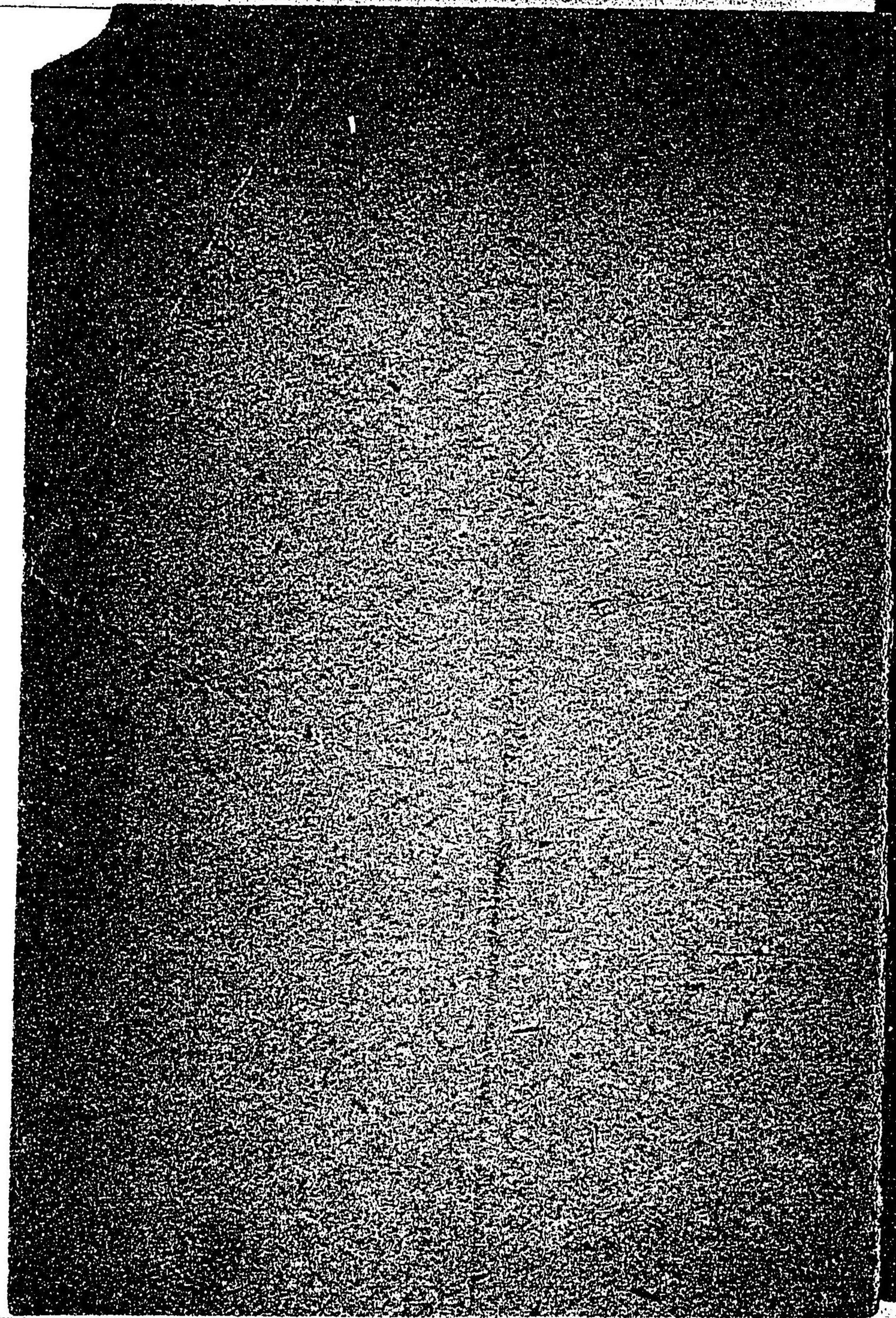
兵庫縣地誌歴史考

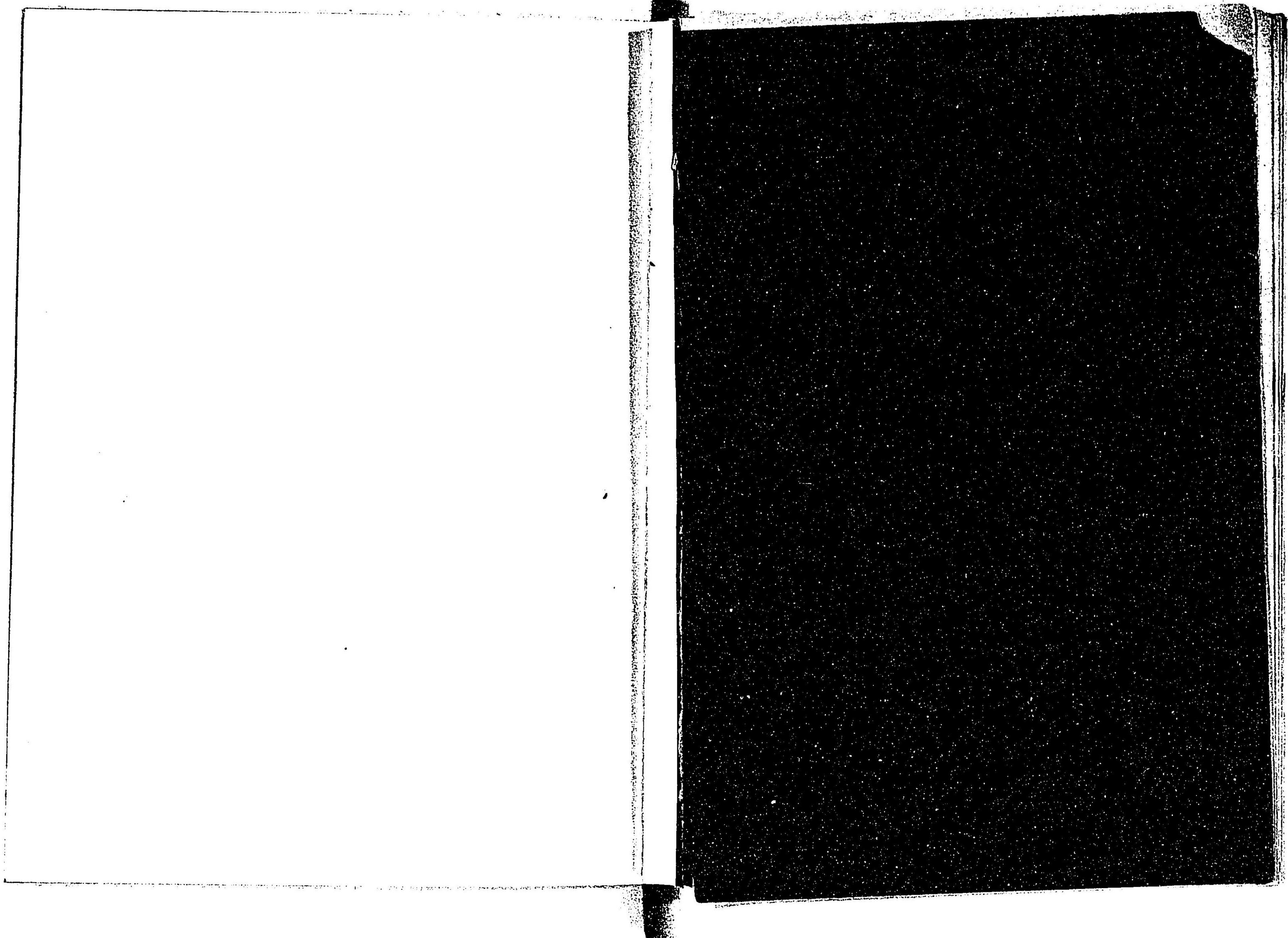
此書ハ引證精確を主とし縣内に於ける名所、舊蹟、村名、起源、産物、沿革、史談、史傳等を蒐集し學校に於て郷土の地誌歴史を教授するの良參考書たらんとす又名所舊蹟の案内者たり而して地誌と歴史とは密接の關係あるを以て山川港泊、名地、等凡そ兩項に關係するものは細大共に網羅したれど我兵庫縣管内に生を安んずるものは必ず座有欠くべからざるものと信す

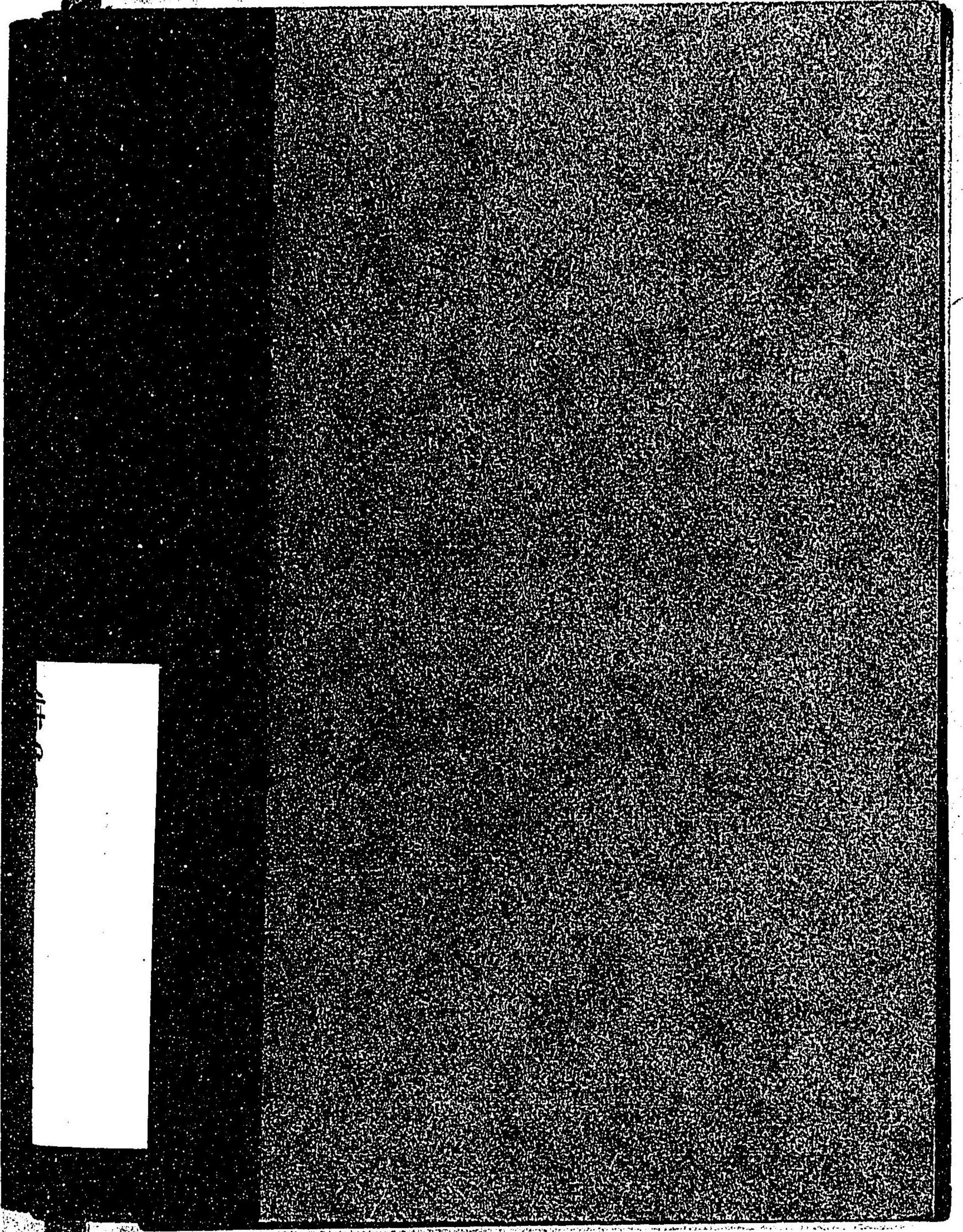
郵税四錢

全一冊 實價廿五錢









111-2

特61

153

神戸名所案内

国立国会図書館

025426-000-3

特61-153

神戸名所案内

塚脇 門蔵(高城山人) / 著

M30

ADC-2876



